入試年度	2027 年度	入試時期	Ⅰ期入学試験	実施日	2026 年 9 月 25 日
課程	博士前期課程	研究科	国際日本学研究科	専攻・コース	国際日本学専攻 ポップカルチャー研究領域
入試方式	一般・外国人留学生		試験科目	専門科目	

「出題の意図」および「解答」または「解答例」

Ⅰ.論述問題

【出題の意図】

２題のうち１題を選んで、マンガ・アニメ・ゲーム・特撮等の歴史を、特定のテーマや観点に沿って整理して述べることができるかを問うている。なお、実質的に小論文を記すことを求める問題であり、多様な回答が考えられ、その全てを示すことは分量が膨大になりすぎ、また一部のみを示すことは出題の趣旨をかえって誤って理解させるものとなるため、一意の解答例は公表を避ける代わりに、キーワードや採点時に重視した観点を解説する。また、下記の解答例から離れた内容の解答であっても、問題文に即して内容が的確であれば適宜評価するものとした。

【解答例（採点時の観点）】

（１） 個々の作品をそのターゲットやジャンル、とりわけ少女向け作品か否かを意識しながら挙げたり位置付けたりすることができていることに注目する。少女向けでは 1970 年代にメインキャラクターである少女が武器で敵と戦闘を行う『ベルサイユのばら』『ラ・セーヌの星』などの作品がメディアミックス展開されており、いずれもそれに先立つ『リボンの騎士』の「サファイア」と同様に男装の麗人として戦う。一方、同じくメディアミックスながらマンガは少年誌に掲載された『キューティーハニー』は、女性であることをむしろ顕示する姿になって戦うことに特徴がある。1990 年代には『美少女戦士セーラームーン』や『魔法騎士レイアース』など複数の中学生の少女が男装ではなく女性的コスチュームをまとってチームとして戦う少女向け作品が現れ、2000 年代以降現在まで続く「プリキュア」シリーズにそれらの特質が受け継がれている。その他、少女向け以外のジャンルの事例や潮流を含め、歴史的ナラティブを構築する論述のしかたができているかを評価した。

（２） ベビーブーマー世代から始まるマンガを読む大学生の顕在化と大学マンガサークルの活発化、1970 年代のミニコミブームやアニメブーム、1980 年代末の宮崎勤事件の影響と逆にこの頃から参加者が激増していくこと、1990 年代初頭における有害図書規制運動と幕張メッセからの使用拒否、その後の多くのプロ作家の輩出、作家のスカウト等マンガ出版社等コンテンツ産業との関係深化や企業ブースの開始、コンテンツ産業の基盤としての同人誌即売会に対する政府や政治家からの注目と TPP 交渉に際する著作権侵害の非親告罪化をめぐる対応、などの事象と、その時々のコミックマーケットとの関係に触れつつ、歴史的ナラティブを構築する論述のしかたができているかを評価した。

Ⅱ.用語解説

【出題の意図】

４題のうち２題を選んで、マンガ・アニメ・ゲーム・特撮等の重要な作家、作品、ジャンル、用語について的確に説明できるかを問うている。なお、実質的に短い小論文を記すことを求める問題であり、多様な回答が考えられ、その全てを示すことは分量が膨大になりすぎ、また一部のみを示すことは出題の趣旨をかえって誤って理解させるものとなるため、一意の解答例は公表を避ける代わりに、キーワードや採点時に重視した観点を解説する。また、下記の解答例から離れた内容の解答であっても、問題文に即して内容が的確であれば適宜評価するものとした。

【解答例（採点時の観点）】

（1） 日本のゲームメーカーであること、「ストリートファイター」シリーズ、「バイオハザード」シリーズ、「モンスターハンター」シリーズ、「ロックマン」シリーズ、「逆転裁判」シリーズなどの代表作を挙げつつ、『ストリートファイターⅡ』が 1990 年代の格闘ゲームブームを牽引したことや、『バイオハザード』がサバイバル・ホラーのジャンル化に与ったことなどについて、的確に解説されているかを評価した。

（2） 1970 年代のテレビシリーズを起点とし、当初の視聴率はふるわなかったものの、数年後、劇場用アニメに若者たちが長蛇の列を作ったことで、当時前例がほとんどなかった青年層も惹きつけるアニメとして注目を集め、1970 年代後半から 1980 年代前半にかけての SF アニメを中心とするアニメブームを牽引したこと、舞台設定や筋立ての概要、2010 年代以降もリメイク作品が複数制作されていることなどについて、的確に解説されているかを評価した。

（3） 20 世紀後半を中心に活躍した日本のマンガ家であること、初期の少女誌での活躍と、少年誌に移ってからの『あしたのジョー』『ハリスの旋風』『おれは鉄兵』『あした天気になあれ』『のたり松太郎』などのテレビアニメ化もされた代表作を挙げつつ、とりわけ『あしたのジョー』がさまざまな社会的反響を巻き起こしたことなどについて、的確に解説されているかを評価した。

（4） さくらももこにより 1980 年代から 90 年代にかけて少女マンガ誌に連載されたマンガであり、90 年代から現在まで放映され続けているアニメ版とともに国民的に認知されていること、舞台設定や登場人物の概要、エッセイ的な作風や絵柄の特質などについて、的確に解説されているかを評価した。

合否判定の方法及び基準

入学試験は国際日本学研究科のアドミッションポリシーに基づき、これを満たす学生を募集することを目的に実施しています。

合否判定については、本研究科のアドミッションポリシーを満たすことを、総合的な視点により合否を判断しております。